



Figs. 1-4. Habitat and adults of *Euthycus inaequalicollis*. 1. Habitat (Ôtomi-rindô, Iriomote-jima Is.) ; 2. Adults, paired on leaf of *Thelypteris acuminata* at night; 3. Adult, resting on ground at daytime; 4. Ditto, exhibiting thanatosis on collecting net at night.

1982 (ゾウムシ科アナアキゾウムシ亜科)は、比較的最近まで生態があまり知られていない珍種のゾウムシであったが、近年、成虫がヒメシダ科のホシダ *Thelypteris acuminata* を利用していることに加え、夜行性で、日中は地表付近の落葉下や地中に潜んでいる可能性が示唆された(吉武, 2016)。また、本種はこれまで沖縄本島、石垣島、与那国島、および台湾に分布することが知られている(東, 2002)。

筆者らは、西表島の大富林道において、まとまった数の本種成虫を確認しているため、同島初記録としてここに報告する。なお、標本は関東が保管する。

成虫目撃, 大富林道, 5. IX. 2019, 吉武・小島目撃; 41 exs., 28. X. 2019, 関東採集・保管; 成虫多数目撃, 4-8. XII. 2019, 小島目撃 (Figs. 1-4)。

西表島においても、夜間生息地では植物体上に見られるが、日中はスーピングを行っても得られる機会はほぼなく、シダの株元を丹念にかぎ分け、地上で擬死した状態である成虫を数個体確認した。本種が夜行性であることに加え、日中の生息場所を確認することができた。

また、本種成虫は刺激を受けると擬死行動をとるようで、スーピングをしたネット内でも、大半の個体が擬死状態でしばらくいることも確認できたの

で、合わせて報告する。

なお、本調査での昆虫捕獲は沖縄森林管理署の許可(30 沖管第 726 号)を得て実施した。また、本研究は東京農業大学戦略研究プロジェクト(代表: 小島弘昭)の研究助成を受けて行われた。

引用文献

- 東 清二 (監修), 2002. 増補改訂琉球列島産昆虫目録. xxiv + 570 pp. 沖縄生物学会, 沖縄県西原町.
吉武 啓, 2016. ヒメイカリゾウムシ成虫の活動習性について. さやばねニューシリーズ, (22): 45.

(小島弘昭 243-0034 厚木市船子 1737
東京農業大学農学部昆虫学研究室)

(関東準之助 399-0101 富士見町境 7794-13-1)

(吉武 啓 901-0336 糸満市真壁 820)

(国研) 農研機構九州沖縄農業研究センター(糸満駐在))

【短報】屋久島におけるサカグチクチプトゾウムシの加害植物記録

サカグチクチプトゾウムシ *Oedophrys sakaguchii* (Kôno, 1930) は、ヒサカキ、ハマヒサカキなどのモツ

コク科(元はツバキ科)の他, クワ科, イラクサ科, バラ科などを成虫が食害する広食性のクチブトゾウムシ族の1種である(Kojima & Morimoto, 2006; 小島・藤澤, 2011). 本種は, 本来, 鹿児島以南の南西諸島に分布するが, おそらく苗木の運搬に伴い分布を拡大したと考えられ, 近年, 伊豆諸島や東京湾など関東地方でも確認されている(竹内ら, 2004; Kojima & Morimoto, 2006; 酒井・高桑, 2015).

筆者らは屋久島において, 本種を島内の比較的高地で, これまで加害樹種として記録のないヒメシヤラ *Stewartia monadelphra* (ツバキ科)ならびに同島固有のヒメヒサカキ *Eurya yakushimensis* より採集しているのので, 以下に報告する. さらに, 低地でサカキ *Cleyera japonica* (モッコク科)を食害している成虫を多数見かけたので, 合わせて報告する.

5 exs., 淀川登山口 (alt. 1,400 m), 4. VIII. 2019, 佐伯採集(ヒメシヤラ); 10 exs., 11. VIII. 2019, 小島採集(ヒメシヤラ); 8 exs., 淀川登山口~花之江河 (alt. 1,640 m), 12. VIII. 2019, 小島採集(ヒメヒサカキ); 多数成虫目撃, 益救神社, 9. VI. 2019, 小島(サカキ; Figs. 1-2).



Figs. 1-2. Adult habitus and feeding scars of *Oedophrys saka-guchii*. 1. An adult on leaf of *Cleyera japonica*; 2. Adult feeding scars on leaves of *C. japonica*.

ヒメシヤラは樹高 20 m 弱の高木で, 長竿を使ってその樹冠部から採集した.

なお本調査は, 屋久島国立公園特別保護地区の動物捕獲について, 九州地方環境事務所の許可(環九屋自許第 1907181 号)を得た上で実施した. また, 一部, 日本学術振興会科学研究費補助金(15K06937, 19K06790)の助成を受けて行われた.

引用文献

- 小島弘昭・藤澤侑典, 2011. 伊豆大島から新たに記録されるゾウムシ上科甲虫. さやばねニューシリーズ, (4): 9-11.
 Kojima, H. & K. Morimoto, 2006. Tribe Cyphicerini. Pp. 139-233, 262-282. In Morimoto, K., H. Kojima, & S. Miyakawa (eds.). The Insects of Japan. 3. Curculionoidea: General Introduction and Curculionidae: Entiminae (Part 1). Phyllobiini, Polydrusini and Cyphicerini (Coleoptera). iv + 406 pp. Touka Shobo, Fukuoka.
 酒井 香・高桑正敏, 2015. 東京港野鳥公園のハムシ・ゾウムシ類. 神奈川虫報, (186): 34-39.
 竹内将俊・田村正人・飯島一浩, 2004. 桜をめぐる生きものたち. viii + 175 pp. 東京農大出版会.

- (小島弘昭 243-0034 厚木市船子 1737
 東京農業大学農学部昆虫学研究室)
 (佐伯智哉 243-0034 厚木市船子 1737
 東京農業大学農学部昆虫学研究室)

【訂正】 さやばね 36 号掲載論文の誤同定

本誌 36 号に掲載された上手ら (2019)「阿嘉島および慶留間島で採集した水生甲虫類」において誤同定が発覚した. ここに訂正しお詫びしたい.

[誤] p. 23, チビマルガムシ *Paracymus orientalis* d'Orchymont, 1925

1 ex., 慶留間 1, 15. III. 2019, 上手雄貴採集.

[正] p. 23, ヒメマルガムシ属の一種 *Anacaena* sp.

1 ex., 慶留間 1, 15. III. 2019, 上手雄貴採集.

併せて, 慶留間島におけるチビマルガムシの記録を削除する. 今回の調査により慶留間島から 5 科 8 種を記録し, 過去の記録を含めると 5 科 9 種を記録したことになる.

引用文献

- 上手雄貴・青柳 克・上手奈美, 2019. 阿嘉島および慶留間島で採集した水生甲虫類. さやばねニューシリーズ, (36): 21-26.

(上手雄貴 名古屋市衛生研究所)